

平成 30 年 8 月 9 日

## タイ王国 Smart factory Seminar 2018 概要とご参加要領

一般社団法人 日本電気計測器工業会  
国 際 委 員 会

冠省

下記セミナー概要と実施要領ご参照の上、ご参加のほどご検討をお願いいたします。

草々

### ■要約

泰日経済技術振興協会 (TPA) (<http://j.tpa.or.th/>) と JEMIMA の協働アクティビティとして、好評を得た昨年度に引き続き、本年度も **Smart Factory Seminar 2018** を開催します。今回も実例と技術を中心に紹介する場を設けると共に、聴講者により具体的な実施のアイデアを持っていただくことを狙ったプログラムとなっています。その一環として JEMIMA 会員企業およびその現地法人の皆様には「テーブルトップデモと、その中から有志の方による技術プレゼンテーション」を実施いただく計画としています。

TPA : Technology Promotion Association (Thailand-Japan)

### 1. セミナーの目的と概要

本セミナーは、タイ王国のプラント／工場に従事する皆様と、**Industrie4.0/IIoT** 技術による先進的な運営 (スマートファクトリー) や課題解決に取り組む上で有用な知識とアイデアを共有し、今後の適用検討と実用に向けた機会創りおよびガイドラインとしていただくことを目的としています。

本年度の企画として、スマートファクトリーの概念や **Industrie4.0/IIoT** 技術をどのように応用・活用可能か、日本およびタイ王国での先行的実例と技術を中心に紹介し、その前後に世界的動向の最新情報や応用アイデア構築を支援する講演に加え、参加者全員による討議を実施することで、聴講者の皆様に今後の活動アイデアと具体的な取組に向けた知識を具体的に持っていただくことを狙います。

その過程として、タイ王国における JEMIMA および会員企業の皆様のプレゼンスと価値をアピールし、最終的に参加者へのタイ国内現法等組織とのビジネスマッチング (販路拡大) と新たな需要機会増大を支援する事を目的としています。

さらに今回は企業関係者のみならず大学・研究機関からも聴講者を募り、JEMIMA 会員企業の皆様との接点創りを支援させていただけるよう計画しています。

### 2. 背景

世界的な **Industrie 4.0** や **Industrial IoT** のトレンドが継続される中、タイ王国においても **Thailand 4.0** の政府指針の基で各企業の取組意識が加速されています。特に今後数年の間で工場の現場労働を支える人材が周辺自国に帰国する傾向や、自国内の賃金上昇、将来の人口減少課題などを背景として、オ

オートメーションやロボット活用の需要が高まっています。その中で日本に対してはその実施に向けた技術に加え人材育成支援における期待が寄せられています。

この状況下において、タイ王国の各企業では IoT への取組に対する意識が高まる反面、具体的にどうしたら良いか分からない状態にあると認識されており、そこに必要な情報提供と同時に会員企業皆様の技術や製品、サービスによる貢献事例を提示することで、今後のビジネス展開にお役立ていただけるものと考えております。

### 3. 聴講対象者

本セミナーでは聴講者の職種に特別の制限はありませんが、テーマからも分かるように、日系・ローカル問わずプロセスオートメーション、ファクトリオートメーションの領域における最終ユーザーおよび関連の事業者を主対象として企画されています。また当該産業関連の大学や研究所への参加もスコープに入れた募集と PR 活動を行っていきます。

### 4. 日程と実施内容（予定）

2018年10月4日（木）～5日（金） 2日間コース

#### 【1日目】

AM～PM: 技術講演として、Industrie 4.0 の国際的最新版況と日本国内での動向と技術などをまとめて紹介します。

・ Smart Factory トrendの最新情報（JEMIMA および関連団体による技術講演）

- 昨年度セミナーのサマリ
- Industrie 4.0 状況および関連技術のアップデート
- 省エネルギー分野での技術
- 工場生産性向け応用分野での技術
- その他 IoT 技術トレンド

PM(続): ご参加いただく企業様とデモ概要紹介を JEMIMA としてまとめて簡単にご紹介した上で、参加企業様有志の方々による技術、実例のご紹介を行っていただき、聴講者に具体的な応用のイメージを持ってもらいます。

・ JEMIMA 会員企業のビジネス領域と IoT 実用状況サマリ Part-1 (JEMIMA)

- スポンサー企業とデモ展示内容の概要紹介
- JEMIMA 企業のビジネス領域における IoT の活用状況概要: part1-システムサプライヤを中心に (JEMIMA)

・ 各企業殿における実用技術と実例および効果プレゼン (各企業様有志)

- 各企業様 20分 x 3企業を予定

【2日目】

AM：前日の継続として JEMIMA からの技術講演に引き続き、ご参加企業様有志の方々から技術講演を行っていただきます。

- ・ JEMIMA 会員企業のビジネス領域と IoT 実用状況サマリ Part-2 (JEMIMA)
  - JEMIMA 企業のビジネス領域における IoT の活用状況概要：計測器サプライヤを中心に (JEMIMA)
- ・ 各企業殿における実用技術と実例および効果プレゼン (各企業様有志)
  - 各企業様 20 分 x 4 企業を予定

PM：聴講者にさらに具体的な応用のイメージと動機を持っていただくため、双方向での討議時間を設け、より実用的な深い知識を持っていただくと共に、計画に結び付けていただけることの加速を狙います。

- ・ 聴講者企業における取組に向けた討議
  - 日本企業における実例を基にした取組内容・方法の情報共有
- ・ 全員討議による具体的アイデア共有

※ご参加いただくスポンサー企業様のデモ展示は講演期間中を通じてセミナー開催の会議室内に設置し、講演外の時間（開始前、終了後、休憩時間等）を最大に活用してご紹介をいただけます。

本セミナーは、タイ国におけるアナウンス後、参加応募状況に応じた実施計画自体の変更を行う場合がありますが、ご了解のほどお願いいたします。

5. 場所

タイ王国バンコク市内 WINDSOR SUITES HOTEL SHUKUMBIT 20 (予定)

注：集客数に応じて TPA 事務所内会議室への変更可能性もありますので予めご了承ください。

6. 現地聴講者参加費用

THB 5,000 (企業1名あたり)

企業と大学関係者含め 100 名程度を予定しています

7. JEMIMA 会員企業様 ご参加要領

7. 1 スポンサーデモ展示ご参加形態

■参加費：50,000 円相当 /1 小間 (税別)

(1 小間：デモスペース (1200w x 600d 予定) とデモ説明、2 名の説明員のフォーラムへのご参加が可能)

2 小間以上ご希望の方には追加 1 小間あたり 35,000 円相当 (税別) でお受けいたします。

※申し込み後の取り消し 2018/9/10 以降は参加費の 100% (税別)

■本デモ・プレゼン実施のため参加いただく方の旅費等費用は各社様ご負担となります

- 参加募集枠：最大 15 社を予定しています。
- 展示物説明用パネルのサイズや設置条件等は後報とさせていただきます。
- セミナー講演内ではご参加企業の皆様の技術や実用事例の一般的紹介を JEMIMA サイドおよびご参加企業の中から有志の方々により行います。デモ展示では 2 日間のセミナー期間中で、講演前後、休憩時間、昼食時間、等に皆様の活動や製品、サービスをビジネス・営業的立場で十分アピールください。
- 参加費のお支払いは JEMIMA 事務局への日本円ベース、または現地 TPA へのタイバートのいずれかをお選びいただけます。
- 皆様現地組織で可能なお客様の集客にご協力ください。

## 7. 2 会員企業様有志による技術・事例紹介

- 上記デモ展示企業の中から有志の皆様に、各企業様の製品やサービスで使用される技術を一般的な視点と表現でご紹介いただくことで、聴講者に応用の具体的なアイデアを持たせることを狙います。
- 従いまして、内容的には単なる商品紹介や営業的アピールにならないようご注意とご協力をお願いいたします。
- プレゼン枠は 1 社 20 分 x7 社様を予定しています
- プレゼン資料は配布用、当日投影用ともに英語でお願いします。配布用資料はテキストとしての編集のため、開催日の 2 週間前迄に送付いただく予定です。
- プレゼン用フォーマットは今回のセミナー用共通の物をご使用いただけます。
  - ・各社様の社名/ロゴはプレゼン資料表紙のみ、上部共通位置に記載いただきます
  - ・プレゼン内での記載テキストには原則社名、商品名等の記載は不可とします
  - ※特定の説明上必須な場合はご相談ベースで可否の判断をさせていただきます
  - ・使用する写真や画面等に商品名が表示されている場合はそのままご使用いただけます
- プレゼンでの言語はタイ語または日本語でお願いします。(タイ語への通訳がつきます)
- 本セミナーの聴講者への価値と TPA としての立場・意義をご考慮のもと、皆様のご支援ご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。

※本プレゼンテーションは IoT 関連技術のスマートファクトリー応用上の技術的内容および事例を中心とした顧客における利点の説明を行っていただくことが目的です。プレゼンいただく内容や資料は事前に確認させていただく必要が生じますのでご了解のほどお願いいたします。また、限定枠に対し応募が多い場合には TPA 関係者により可否の選定をさせていただく場合がありますので、予めご了承のほどお願いいたします。

#### 8. 泰日経済振興協会 (Technology Promotion Association) について

タイ国の経済・産業発展を目的とし、日本から同国への最新技術と知識移転・広報と普及、人材育成を行うため、元日本留学生や研修生が中心となり 1973 年 1 月に設立された非営利団体です。以降 40 年以上にわたり活発に活動を継続しており、技術、語学等幅広い教育のための刊行物発行やセミナー、コンサルティングの実施に加え、工業用計測器や実験器具の校正・検査サービスも実施しています。さらに泰日工業大学の設立 (2007 年) を通じ、日本語に加え実用的なビジネス知識の教育による学生の育成も行っています。現在 17 名の役員と約 300 名の従業員により構成されています。

URL : <http://j.tpa.or.th/>

以上

August 9, 2018

Thailand Smart factory Seminar 2018 - Outline and Participation Guideline  
for JEMIMA Member Companies

International Affairs Committee  
Japan Electric Measuring Instruments Manufacturers' Association

Please refer to the following seminar overview and implementation guidelines and consider how much participation is possible

***Summary***

JEMIMA will hold a Smart Factory Seminar 2018 this year, based on last year's favorable feedback, as a collaborative activity with Technology Promotion Association (TPA) (<http://j.tpa.or.th/>). In addition to providing with an opportunity to introduce mainly latest trend, examples and techniques for Smart factory/IIoT, we aim to have audiences get more specific ideas of implementation. As part of that program, we plan to implement "Tabletop Demo" for JEMIMA member companies and their local subsidiaries, and "Technology / Practices Presentation" by volunteers among them.

TPA : Technology Promotion Association (Thailand-Japan)

***1. Purpose and outline of the seminar***

This seminar will share useful knowledge and ideas in addressing advanced management (Smart Factory) and problem solving by Industrie 4.0 / IIoT technology with everyone working in the plant / factory in Thailand in order to have them apply it in the future. It is aimed at creating opportunities for consideration and practical use at audiences' sites as a guideline.

As a plan for this year, we will introduce the concept of Smart Factory and how Industrie 4.0 / IIoT technology can be applied and utilized, mainly on precedent examples and technologies in Japan and Thailand. Also to support and effectively motivate the audiences, we will talk about the latest global technological trend in that arena. Further we are planning to facilitate some discussion by all participants, in order to urge every audience to have specific knowledge for future activities and specific efforts at their sites.

And as part of that process, we will have time slots to appeal JEMIMA and its members' presence and values in Thailand by way of member companies' products/services demonstrations, and will finally try to support business matching for expanding sales with new demand opportunities.

In addition, we plan to invite audiences not only from corporate personnel but also from universities and research institutions, and to support the creation of contact points with JEMIMA member companies

## 2. Background

While the trend of the global Industrie 4.0 and Industrial IoT is continuing to extend, Thailand is accelerating the awareness of each company's efforts based on the governmental direction of Thailand 4.0. Demand for automation and robotics is getting increasing, especially in the background of trends in the workforce of factory workers returning to their home country in the coming years, rising wages in Thailand themselves, and future demographic reduction challenges. Among them, expectations are given to Japan for supporting human resource development as well as technology for its implementation.

Under these circumstances, each company in Thailand is increasingly aware of its efforts towards IoT, but on the other hand, it is recognized that majority of the people are in a state of not knowing what to do specifically. Therefore at the same time as providing necessary information there, we think that it could be useful for every member company's future business development to show practices/examples or use cases of contributions by their own technology, products and/or services.

## 3. Target audience

There are no special restrictions on the occupation of auditors at this seminar, but as the theme shows, it is planned mainly for end-users and related operators in the field of process automation or factory automation regardless of Japanese affiliates or local manufactures. We will also conduct all possible promotion efforts with the participation in the relevant universities and research institutes related to the industry scope.

## 4. Schedule and implementation details (planned)

2 - day course from Thursday, October 4, 2018 to Friday the 5th (Friday)

### [1<sup>st</sup> day]

<AM ~ PM>

As technical lectures, we will introduce the latest international situation of Industrie 4.0, and latest trends/technologies in Japan.

- The latest information on Smart Factory trend (Technical lecture by JEMIMA and related organizations)
- Summary of the Smart Factory Seminar 2017
- Industrie 4.0 Status and related technology updates
- Technology in the field of energy conservation
- Technology in applied field for factory productivity
- Other IoT technology trends

<PM (continued)>

We will introduce the introduction of the demo summary by the companies participating as JEMIMA in brief. Then we continue to have volunteered member companies make presentations on their

technologies and practices/examples how their users are beneficial, in order to build up application images to the audience.

- Business domain of JEMIMA member company and IoT practical situation summary Part-1 (JEMIMA)
- Sponsor company and demo Introduction of exhibition contents
- Outline of utilization of IoT in the business domain of JEMIMA companies outline: part 1 - focusing on system suppliers (JEMIMA)
- Practical techniques, examples and effect presentations at each company (each company volunteer)
- 20 companies x 3 companies planned for each company

### *[2<sup>nd</sup> day]*

<AM>

Continued from the technical lectures from JEMIMA as extension of the 1st day's lectures, technical presentations by participating companies' volunteers will be scheduled.

- Business domain of JEMIMA member company and summary of practical situation of IoT Part-2 (JEMIMA)
- Outline of utilization of IoT in the business domain of JEMIMA companies: Focusing on measuring instrument suppliers (JEMIMA)
- Practical techniques, examples and user benefit presentations at each company (each company volunteer)
- 20 minutes x 4 companies planned

<PM>

In order to have audiences get more concrete application image and motivation, we will facilitate bi-directional discussion timeslot, so that audiences could get further practical and deep knowledge to accelerate their actual plan.

- Discussion towards start practices by audience companies
- Possible efforts based on examples in Japanese companies · Information sharing of methods
- Sharing concrete ideas through discussion by all members

\* Demonstration exhibits of sponsor companies will be set up in the conference room held at the seminar throughout the whole lecture time and demonstrations will be available by allowing maximum time outside the lectures (before start, after end, during every break, etc.)

We may change the implementation plan itself based on the situation of their feedback after announcement of the seminar detailed plan in Thailand.

We appreciate your understanding in advance.



## 5. Venue

WINDSOR SUITES HOTEL SHUKUMBIT 20 (planned) in Bangkok, Thailand

Note: Please understand in advance that it may change to the conference room in the TPA office according to the number of customers.

## 6. Local audience participation fee

THB 5,000 (per person)

We plan to have about 100 people including companies and universities.

## 7. JEMIMA member companies participation guideline

### 7.1 Sponsor Demonstration Exhibit Participation

■ Participation fee: equivalent to 50,000 yen / slot (excluding VAT)

(1 slot: demo space (1200w x 600d), participation in the seminar of two explanatory participants)

For additional slots, equivalent of 35,000 yen per slot will be requested.

■ Expenses for travel & living etc. will be covered by each participant for this demonstration presentation

■ Participation slots: Up to 15 companies (slots) are planned.

■ The size of the exhibition explanation panel, installation conditions, etc. will be posted later.

■ As part of the seminar lectures, we will carry out summary introduction of the technology/technics and practical examples of participating companies by JEMIMA side. In the demonstration exhibition, during the two-day seminar period, please fully appeal your activities, products, and services from the business standpoint, utilizing before and after time of the lectures, break time, lunch time, etc..

■ For payment of participation fee, you can choose either Japanese Yen to JEMIMA Secretariat or Thai Baht to local TPA.

■ Please also cooperate with us for gathering customers who are possible at local organization.

Note: Cancellation later than September 10, 2018 will require 100% charge of the participation fee (excluding VAT).

### 7.2 Technical presentation focusing on practice examples by volunteer members

■ We would like to ask some of sponsor member companies to provide with technical presentations as volunteers. By introducing the technologies used by the products and services of each company from general viewpoints, we will aim that audiences could get specific ideas for applications using JEMIMA member companies' products and/or services in a general sense.

■ Please make sure and cooperate not to become product introduction or only sales appeal merely in terms of the contents.

■ One presentation frame is scheduled as 20 minutes per 1 company and totally 7 slots are planned during the whole 2 days.

■ Presentation materials are requested with English for both of a seminar text book and on projecting purposes during presentations. Presentation materials will be scheduled to be sent by 2 weeks before the seminar starting date for editing purpose as text as well as study by translators.

■ Presentation format will be unified for this seminar.

・ Company name / logo of each company should be available in the upper common position only for the cover page of the presentation material

・ In the description text in the presentation, in principle, the company names, product names etc. are not allowed

Note: TPA staffs will make a judgment on your request basis in case where it is needed for explanation specifically

・ When the product name is displayed on the photo or screen to be used on presentations, you can use it as it is

■ Language in the presentation is requested with either Thai or Japanese. (An translator will be available at TPA for Japanese speakers.)

■ We appreciate your support and cooperation in considering the value to the audience of this seminar and the position and significance as TPA.

Note: The purpose of this presentation is to explain the advantages or benefits of users based on the IoT related technical/technological contents with examples of practices on smart factory application. Since we need to check the content and materials to be presented in advance, we appreciate your understanding. Also, in case there are more offerings than the limited slots available, TPA staffs may select which presentations will be adopted. We appreciate your understanding in advance.

### ***8. Technology Promotion Association (Thailand-Japan)***

TPA was formed and established by mainly ex-Japan international students and trainees as the non-profitable organization in January 1973, for the purpose of economic and industrial development in Thailand, by way of carrying out the latest technology transfer or knowledge transfer from Japan to Thailand, public relations and dissemination, human resources training, so on. Since then, TPA has been actively continuing their efforts for more than 40 years. In addition to publishing publications, seminars and consulting for a wide range of education such as skills and language, TPA also conduct calibration and inspection services for industrial measuring instruments and laboratory instruments. Through the establishment of Thail-nichi Institute of Technology (2007), TPA also train students with educating practical business knowledge in addition to Japanese. TPA currently consists of 17 officers and about 300 employees.

URL : <http://j.tpa.or.th/>

<<End of document>>